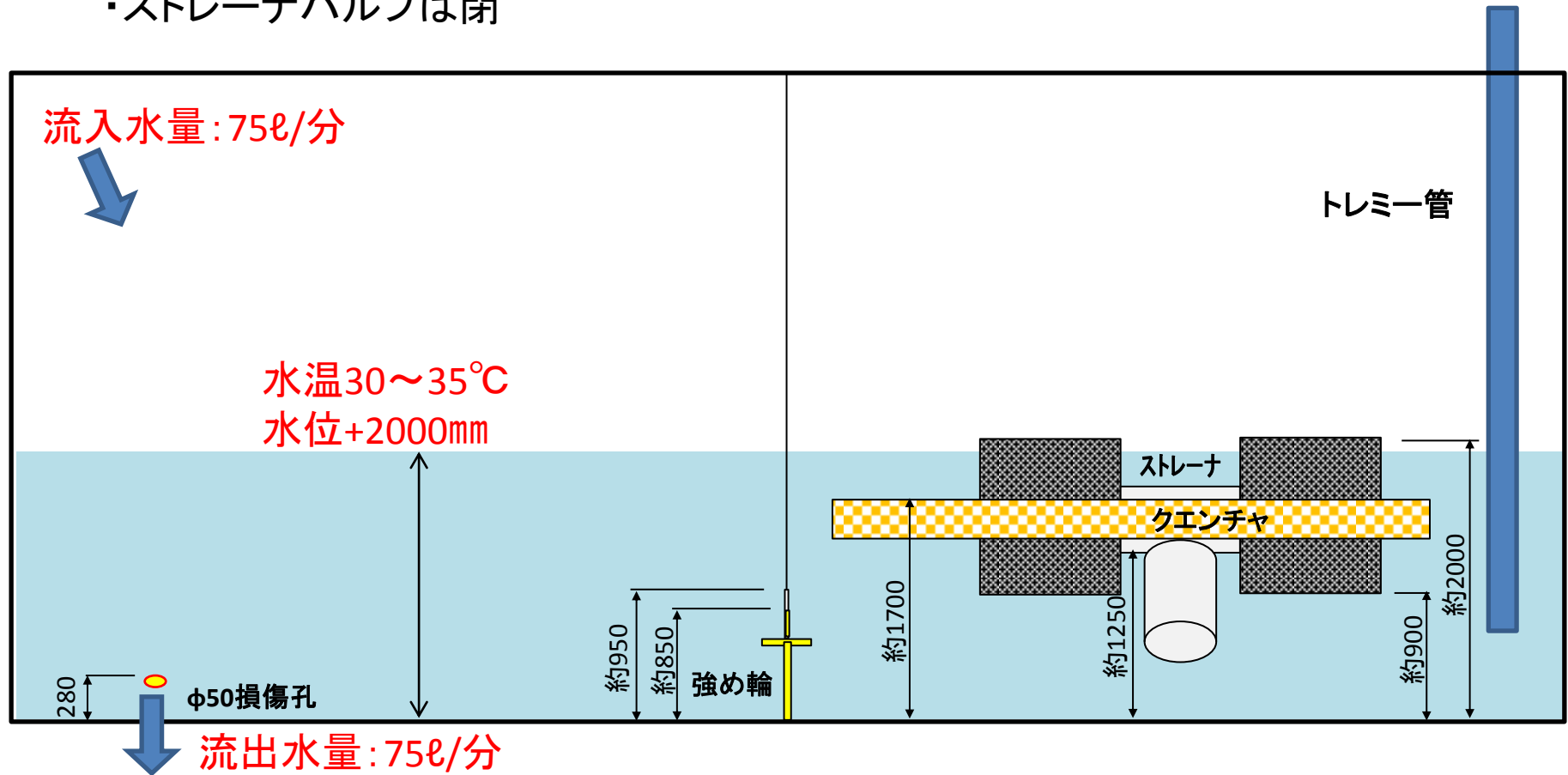


<コンクリート打設進捗に伴う時経列事象>

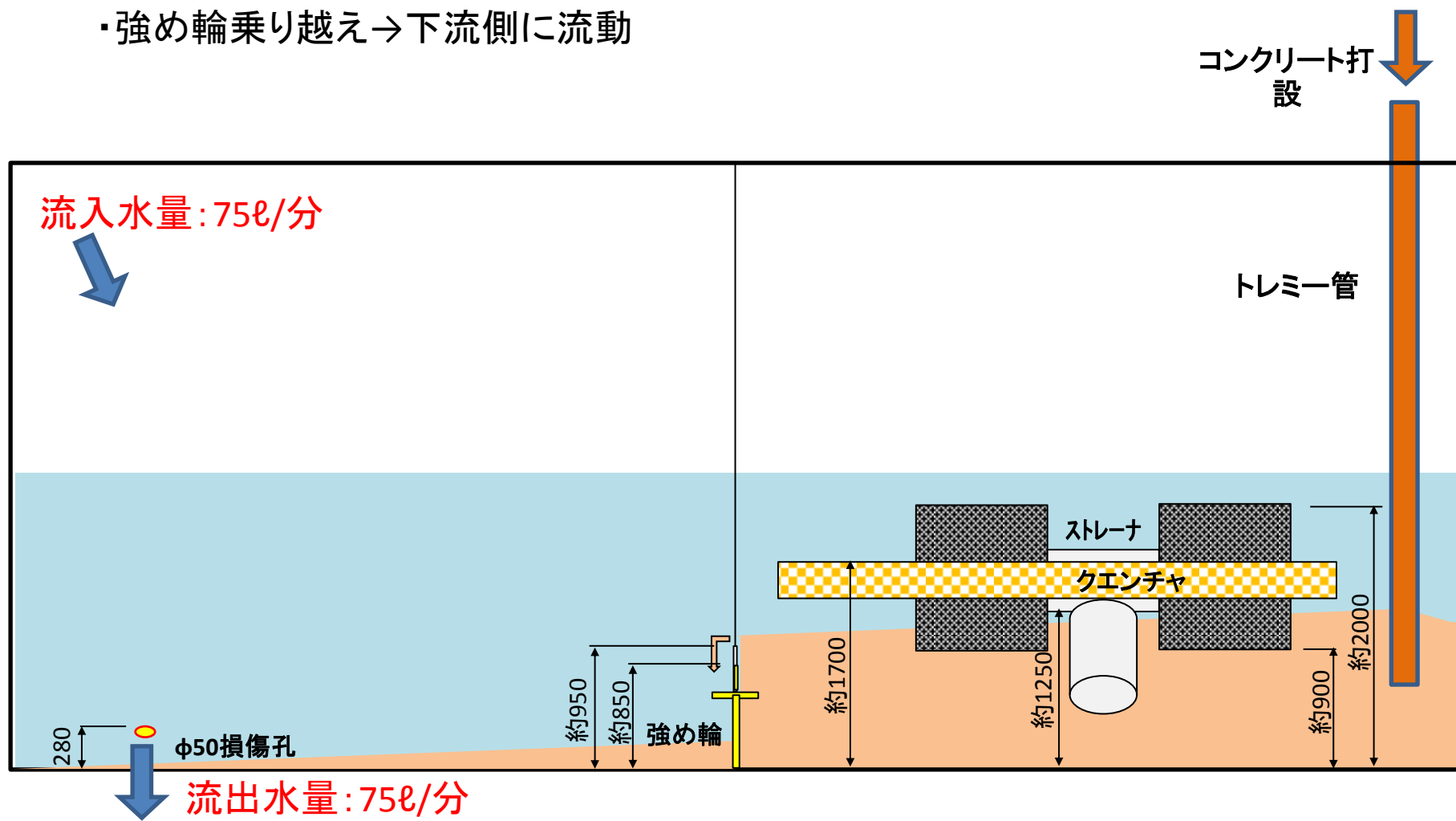
ステップ①

- ・水温30~35°C、水位+2000mm確認
- ・流入、損傷孔流出量(75ℓ/分)の確認
- ・ストレーナバルブは閉



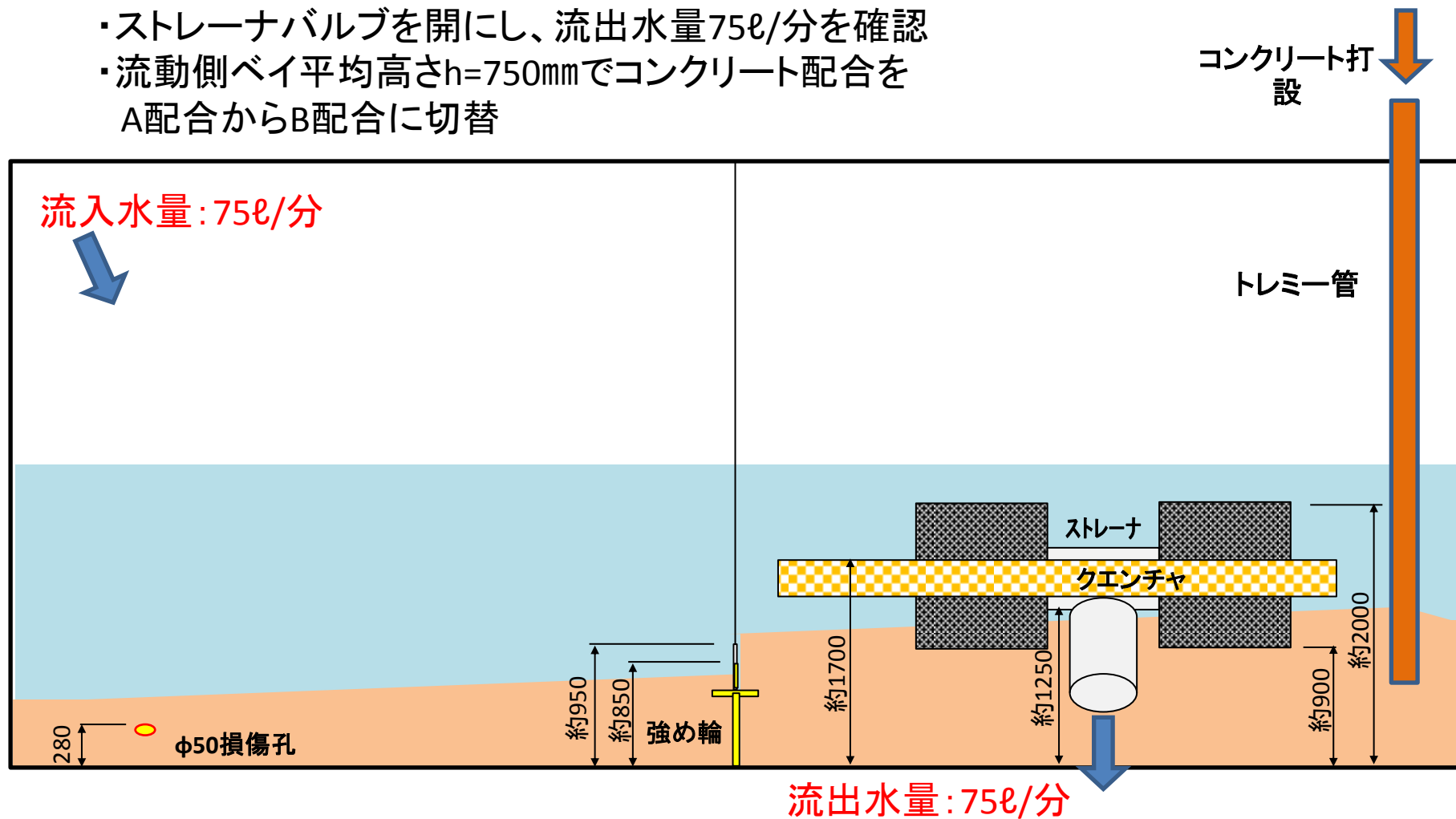
ステップ②

- ・コンクリート打設(30m³/分目標)
- ・コンクリートがストレナ下端に到達
- ・強め輪乗り越え→下流側に流動



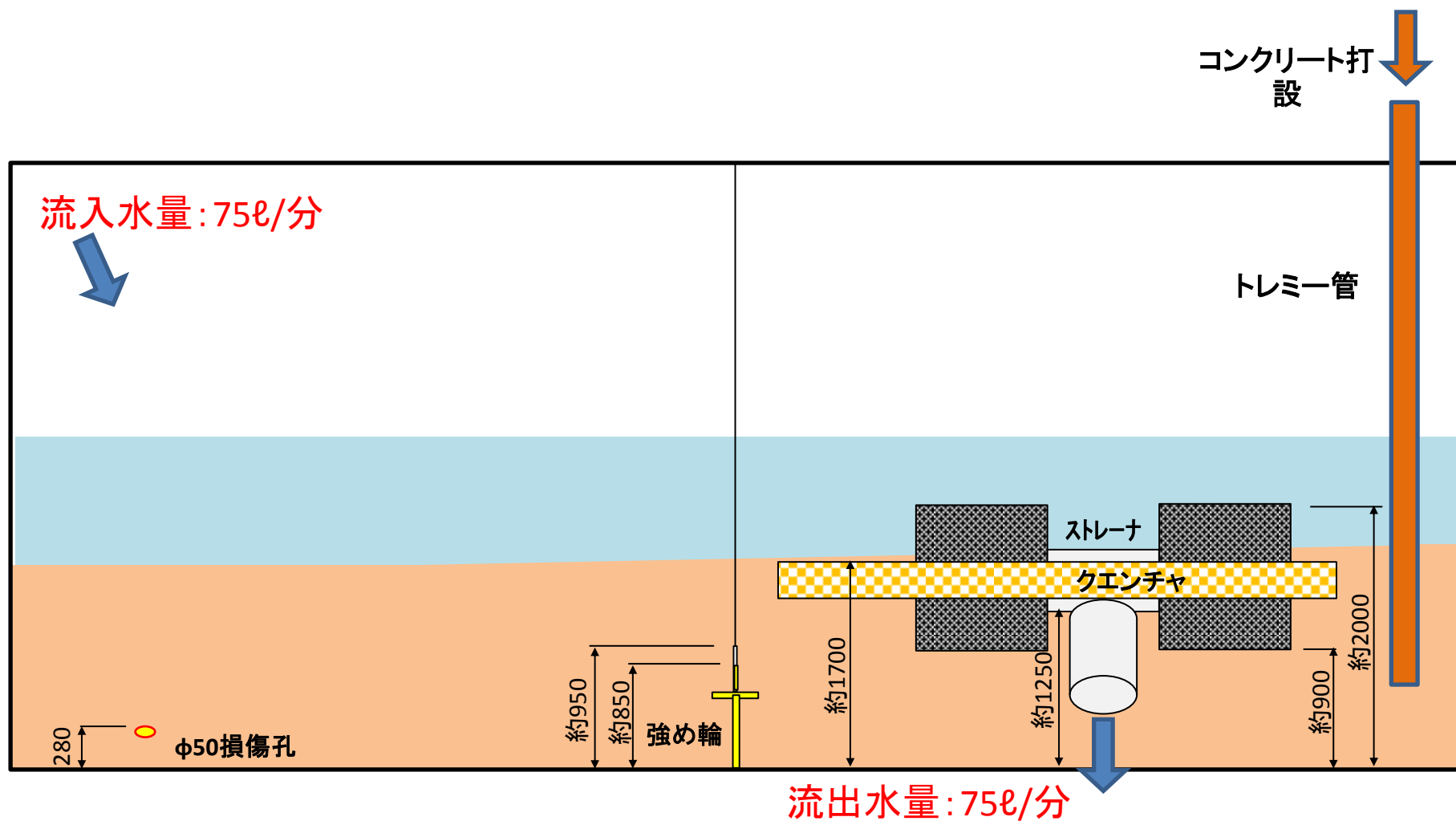
ステップ③

- ・ 損傷孔閉塞 (下流側 $h=380\text{mm}$ 時を予想)
→ 閉塞確認後に漏洩量計測用に切替
- ・ ストレーナバルブを開にし、流出水量 75l/分 を確認
- ・ 流動側ベイ平均高さ $h=750\text{mm}$ でコンクリート配合を
A配合からB配合に切替



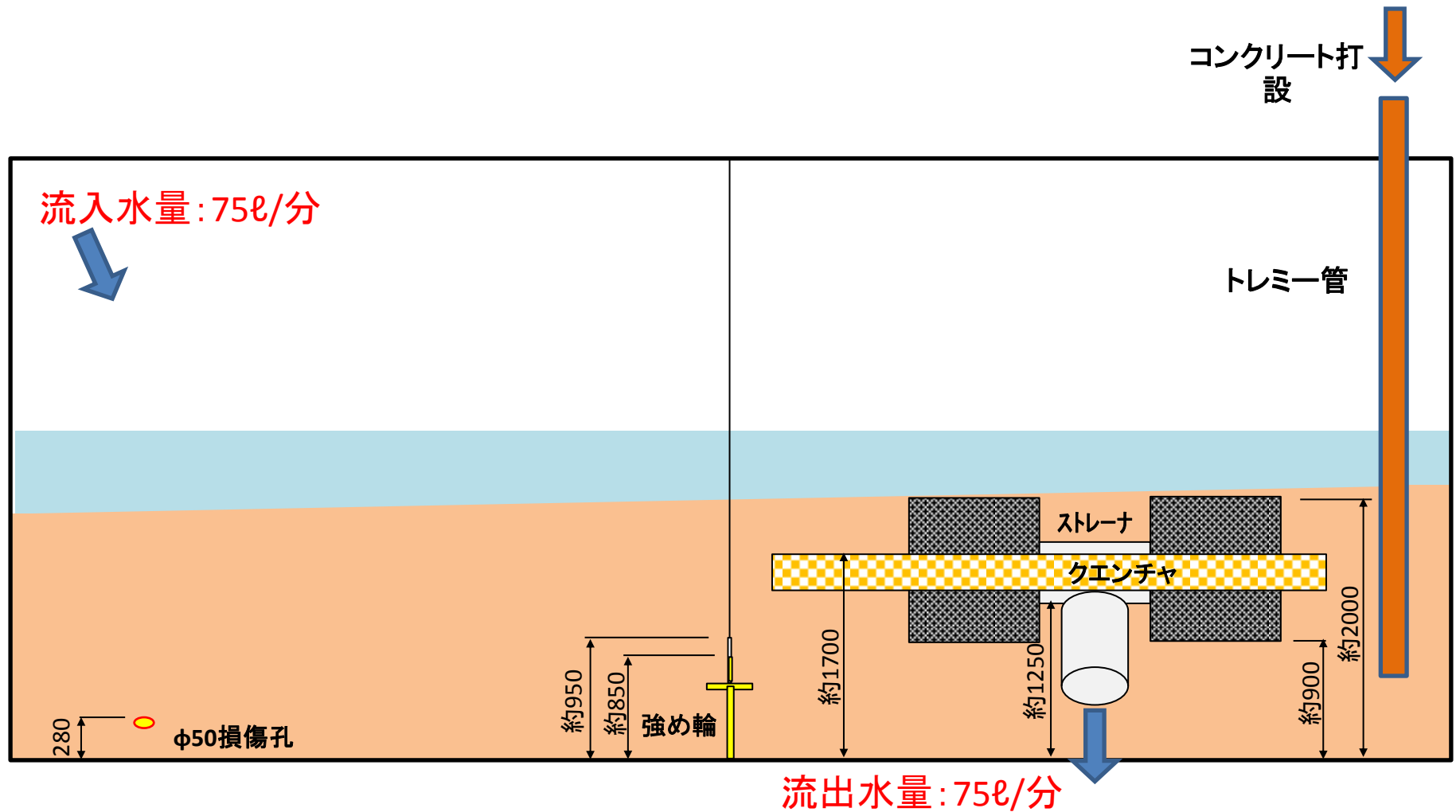
ステップ④

- ・ストレーナ管下端に到達 (h=約1250mm)
- ・クエンチャ埋設 (h=約1700mm)



ステップ⑤

・ストレーナ上端に到達 (h=2094mm)



ステップ⑥

- ・ストレーナ閉塞 (h=2200mmを予想)
 - 閉塞確認後に漏洩量計測用に切替
 - 流入水バルブを閉にする
- ・コンクリート打設終了 (平均=2300mm)
- ・コンクリートポンプ車の水洗い

